

思い出を胸に新たなステージへ――

新麻生中学校、新麻生小学校、新武田小学校の開校に伴い、8つの学校が地域とともに歩んだ長い歴史に幕を閉じました。3月22日には麻生小学校、行方小学校、小貫小学校、3月24日には麻生中学校、麻生第一中学校、武田小学校で閉校式が開催されました。そして4月6日には新麻生中学校、麻生小学校、武田小学校が開校し新たな歴史がスタートしました。



↑ 3/22 行方小学校閉校式



↑ 3/22 小貫小学校閉校式



↑ 3/22 麻生小学校閉校式



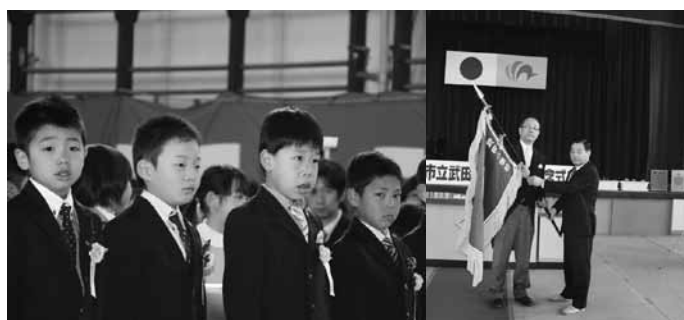
↑ 3/24 麻生中学校閉校式



↑ 3/24 麻生第一中学校閉校式



↑ 4/6 麻生中学校開校式・4/9 入学式



↑ 4/6 武田小学校開校式・入学式



↑ 4/6 麻生小学校開校式・入学式

子どもの家 堇の苑 竣工式

認可保育園として新たなスタートを切りました

4月1日より認可保育園として新たなスタートを切った「子どもの家 堇の苑」の新園舎が完成し、3月24日竣工式が開催されました。

額賀衆議院議員、伊藤市長をはじめたくさんの来賓の方が訪れ祝辞を述べたほか、園児や保護者が出席しました。園児のうたや和太鼓の発表も披露され、にぎやかな式となりました。同園は市内外からの園児〇〇人が通園しています。



芸術家のアトリエを公開

行方アートさんぽみち

4月7日～9日の3日間、行方市内のアトリエや商店街、県指定文化財大場家住宅で、第8回オープンアート事業「行方アートさんぽみち」が開催されました。

沖洲地内の通称芸術村では、グラフィックデザイナーの藤代範雄さん、画家の友水孝さん、モラ作家の黒田善子さんが、自身のアトリエを一般公開し、震災復興をテーマとした新作などを披露しました。

訪れた方は、作品の一つ一つに見入っていました。を丁寧に鑑賞していました。

『手賀ふれあいの森』で森林環境を学ぶ

手賀ふれあいの森を守る会

行方市手賀地内にある森林公園は、『手賀ふれあいの森』の名称で市民の憩いの場として利用されている中、オープンと同時に森林ボランティア『手賀ふれあいの森を守る会』も結成され活動が続けています。

公園内の散策路の清掃や森林の間伐等の作業を行うほか、新池を囲む約12haの森林にはさまざまな植生が分布する鹿行地区に残された貴重な平地林を活用して、樹木板を製作し、地元の子供たちと一緒に木々に取付作業を行い、自然に親しんで貴重な森林を理解してもらうための観察会や桜の苗木の植栽を行いました。



文化財保護のために活動しています

行方市文化財保護審議会

当審議会では、3月28日、北浦地区において、6カ所の指定文化財の巡視活動を行いました。

所有者・管理者様のご協力により、普段なかなか把握することの出来ない文化財の現状を知ることができ、有意義な活動となりました。

また現在、生涯学習課において、市内7カ所の倉庫に保存されている文化財（埋蔵文化財や民具等）を整理する事業を行っております。1月にはそれらも巡視し、詳細な目録と照らし合せ、整然とした整理された現状を確認しました。当審議会では、貴重な資料を管理し、展示できるような施設が行方市に設置されるよう、市に対して要望等を行っていきます。

行方市消防団辞令交付式

新役員でスタートしました

4月2日、行方市消防団辞令交付が行われました。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を修得し、火災発生時における救助・救出活動、警戒巡視、非難誘導、火災防御活動などに従事し、地域住民の生命や財産を守るために活躍しています。また、平常時においても、訓練のほか、応急手当の普及指導、住宅への防火指導、特別警戒、後方活動などに従事し、地域における消防力・防災力の向上において重要な役割を担っています。



地元企業と災害時協定を締結

生活物資や燃料の供給、資機材リースの協力

災害時における市民生活の早期安定を図るため、市は、市内や近隣市に店舗を構える、カスミ、カインズ、ベイシア、茨城県石油業協同組合行方支部、なめがた農機燃料、箕輪リースの各事業所と生活物資や燃料の供給、資機材リースの協力に関する協定を締結しました。

東日本大震災発生時には、生活物資や燃料が不足し、市民生活に混乱が生じました。協定締結により、食料品や飲料水、日用品等の支援が期待されるとともに、燃料供給の確保が可能となりました。

身近なグローバル社会を見つめよう

行方市国際交流協会 20 周年式典

平成 3 年 4 月に設立した行方市国際交流協会（小林広会長）が、20 周年を迎えたことから、3 月 31 日、麻生公民館において記念式典が開催されました。

同協会は、市内に在住する外国人との交流会や日本語教室などを通じて国際交流を推進しています。

式典当日は、イギリス出身で石岡市在住のフリーランスライター、クレア・サマーズさんなどが壇上に立ち、国際理解や異文化交流の意義などについての講演がありました。



腎臓病の理解を深めました

腎臓病市民公開セミナー～みんなで腎臓を守ろう～

3 月 17 日、腎臓病をテーマとする市民公開セミナーがレイクエコーで開催されました。特別講演として、腎臓病を専門とする筑波大の山縣教授やなめがた地域総合病院の田畑院長から腎臓病と脳卒中のかかわりなど、貴重なお話を聴くことができました。その後、医師や管理栄養士、保健師が参加してのパネルディスカッションが開かれ、伊藤市長もパネリストとして参加し、活発な意見交換が行われました。

会場には、市内外から大勢の方が訪れ、腎臓病に対する関心の高さがうかがえました。

第5回行方市学童野球大会新人戦

3月20日(祝) 浜野球場

【優勝】玉造ジャイアンツ 【準優勝】麻生スポーツ少年団
【第3位】北浦ペガサス



玉造ジャイアンツ

常陽銀行が防犯ブザーを寄贈

児童の登下校時の安全を確保します

児童1人ひとりの防犯の一助にと、4月4日、常陽銀行の麻生・玉造の各支店長が伊藤市長を訪ね、防犯ブザーを贈呈しました。



これは、安心して生活できる地域社会づくりの一環として、行方市内の新小学1年生を対象に同銀行が毎年実施しているもので、今年は、300個の寄贈を受けました。

防犯ブザーは、児童の登下校時などの安全確保のため、役立たせていただきます。

文化財案内看板を設置しました

市内に21基 設置しました

市内には、現在82の指定文化財(国・県・市)があり、このたびその所在を示す案内看板を、21基設置しました。道路沿いに、赤い文化財マークが目印のこげ茶色の看板をご覧になった方も多いかと思います。地域の文化財でありながら、今まで気付かなかった場所もあるのではないのでしょうか。ぜひ一度、足を運んでみてはいかがでしょうか？

※私有地も多くありますので、文化財をご覧になるときはマナーを守って見学してください。



地域の安全を守るために

4/11 北浦駐在所・4/12 玉造駐在所開所式

北浦駐在所(山田駐在所・小幡駐在所・両宿駐在所の統合)・玉造駐在所(玉造駐在所・榎本駐在所・羽生駐在所・井上駐在所が統合)が統合新設され、それぞれ開所式が開催されました。

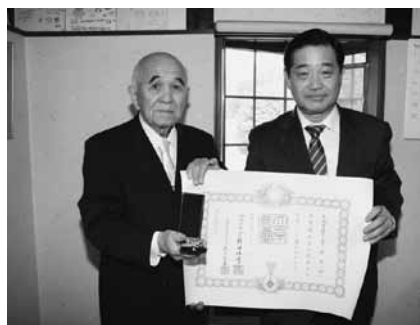


旭日単光章受賞

男庭恒和さん

小貫在住の男庭恒和さんが、旭日単光章を受章されました。

男庭さんは、北浦村助役として3期12年の長きにわたり、村長を補佐し、村政運営が不備なく万全なものとなるよう惜しみなくその任にあたったほか、北浦村職員として総務課長などの要職を歴任し、円滑な村政の発展に寄与されました。おめでとうございます。



子どもたちの交通安全のために

J Aなめがたより交通安全帽子寄贈

3月19日、北浦庁舎教育長室において、JAなめがた中川治美組合長から根本安定教育長へ交通安全帽子が寄贈されました。市内の新1年生

の交通安全のために役立てて欲しいとのことでした。各校を通して275人の新入生に配布されました。

